北海道新聞（苫東）
2014.06.02

ハスカップは世界的資源

北海道の自然豊かな環境に恵まれた地域で、スカップが自生するハスカップは保存の必要があろうと懸念するデモンストレーター。市民ら約60人が同地域を含む勇払原野の将来に懸念をはせた。

勇払原野の保全論文

北海道大学資源環境科学大学院の木村木道教授は、勇払原野の自然環境が重要な保全課題であると述べた。北海道大学は、原野の保全策に向けた研究を続けてきた。

パネル討論でハスカップの将来について聴く（写真）森田さん、道田さん、山口さん、大西さん

ハスカップの保全に関わる方々の意見が交わされた。